

# 色彩のラプンデュー Rhapsody in Color

コレクショントリコレクションVOL.2  
Re-Collection Vol. 2



エーリヒ・ブラウアー〈ソロモンの箴言より〉1970-71年

フランク・ステラ・ルーム  
Frank Stella Room  
エーリヒ・ブラウアー 〈ソロモンの箴言より〉  
From the Proverbs of Solomon by Erich Brauer  
絵画の時間 In Time with Painting

2013年7月27日[土]—12月15日[日]

〔開館時間〕9:30—17:00 (入館は16:30まで)

〔休館日〕月曜日 (ただし9/16, 9/23, 10/14, 11/4 は開館) 9/17, 9/24, 10/15, 11/5

〔入場料〕一般900円(800円) 学生・65歳以上700円(600円) 小中学生・高校生500円(400円)

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

主催: DIC株式会社 会場: DIC川村記念美術館  
後援: 千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 Tel: 0120-498-130

<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

年間を3期に分け、全館において当館の収蔵品をご紹介します「コレクショントリコレクション」の第2弾では、これまで展示される機会の少なかった作品も取り上げながら、3つの企画展を同時開催いたします。当館でしか出会えないラインナップと、それぞれの空間に流れる時間を、庭園の四季風景とともに楽しみください。

VOL. 3：2014年1月2日(木) - 3月30日(日) (予定)



フランク・ステラ《ヒラクラ III》1968年



フランク・ステラ《ポルトガゴ侯爵 (第2ヴァージョン)》1960年



フランク・ステラ《ベックホーフエン III》1972年



フランク・ステラ《メリー・クリスマス 3X (第3ヴァージョン)》1987年

All works © Frank Stella / ARS, New York / JASPAR, Tokyo, 2013 D0255

## フランク・ステラ・ルーム Frank Stella Room

大型作品16点一挙公開 - アメリカの巨匠フランク・ステラの見た夢

当館を代表する現代絵画の巨匠フランク・ステラの大型作品16点を展示いたします。フランク・ステラ (1936年-) は大学で美術史を学んだ後、画家を志し最小限の形態と色彩からなる〈ブラック・シリーズ〉(1959-60年)により若干23歳でアメリカの美術界に衝撃を与えました。当館コレクションの特徴は〈トムリンソン・コート・パーク (第2ヴァージョン)〉(1959年)に始まり、ステラの約35年間にもおよぶ制作の流れを一望できるところにあります。絵画構造の探求から変形キャンバスを考案し、「図」と「地」を分離させたレリーフ作品を経て、《セコイア》(1991年)では完全な立体作品に到達するダイナミックな変遷は、ステラ最大の魅力と言えるでしょう。



エーリヒ・ブラウアー《ソロモンの箴言より》1970-71年



エーリヒ・ブラウアー《ソロモンの箴言より》1970-71年

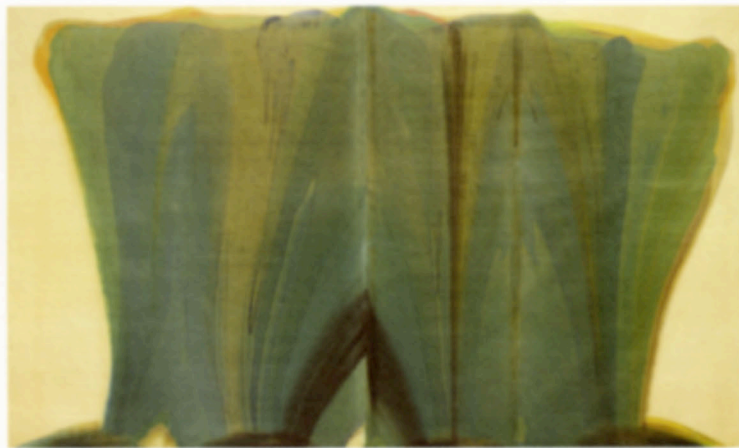
## エーリヒ・ブラウアー《ソロモンの箴言より》 From the Proverbs of Solomon by Erich Brauer

ウィーンの魔術師、エーリヒ・ブラウアーの描く幻想の光景

エーリヒ・ブラウアー（1929年-）はウィーン幻想派を代表する画家のひとりとして知られています。《ソロモンの箴言より》（1970-71年）は、旧約聖書の「箴言」<sup>しんげん</sup>から抜粋したテキストをもとに制作された12枚の連作版画です。人間の愚かな行いを戒め、人生の知恵を授けるものとして伝えられてきた「箴言」の言葉を、ブラウアーは現実と夢の交錯する不思議な光景に描き出しました。本展では、当館初公開となる《ソロモンの箴言より》12点および聖書に関連した3点の作品をご紹介します。



ブリジット・ライリー《朝の歌》1975年 © Bridget Riley



モーリス・ルイス《ギメル》1958年 © 1958 Morris Louis

## 絵画の時間 In Time with Painting

絵画に秘められた線をめぐる旅

初めて眼にする絵画に、眼差しを向け軽やかに鑑賞する。ウィットに富んだ絵との対話は、美術の知識がないと出来ないのでしょうか。何かを知っていれば会話がスムーズに成り立つことは確かですが、会話そのものを楽しむために必ずしも必要というわけではありません。コレクションによる企画展「絵画の時間」は、約40点の作品を「線」という要素に注目し、絵画を楽しむひとつの手がかりとして企画されました。難解に見えた作品のユーモラスな表情、つまらないと思われた作品のユニークな部分、見慣れた作品の新たな一面、それらを発見する喜びは、作品を見る私たちの意識と視線をほんの少し変えることで可能となります。あなたの絵画の時間が、いま始まります。

出品予定作家：荒川修作／ジョルジュ・ブラック／ジャクソン・ポロック／ジャン・デュビュッフェ／李禹煥／モーリス・ルイス／ブリジット・ライリー／山口長男／ロバート・ライマン／高松次郎／飯田善國／サイ・トゥオンブリー／中西夏之 ほか

## 会期中のイベント

### フロアレクチャー

8月10日(土) 15:00-16:30

講師：八重樫春樹氏(美術史家、元国立西洋美術館学芸課長)

作品と一緒に鑑賞しながら時代背景や作家についてお話いただきます。

当日14:00から館内受付で整理券を配付(一般先着30名様/友の会優先予約あり)

### 担当学芸員によるギャラリートーク

8月3日(土)、9月7日(土)、10月5日(土)、10月26日(土)、11月16日(土)

14:00-15:30

各企画の担当学芸員が展覧会の解説を行ないます。

予約不要/エントランスホール集合

### ガイドツアー

毎日14:00-15:00(フロアレクチャー、ギャラリートーク開催日を除く)

ガイドスタッフがコレクション展示と企画展をご案内します。

予約不要/エントランスホール集合

### ワークショップ「アートとあそぶなつやすみ」

会場：庭園内第一休憩所

対象：小学生以上

参加費：小中学生・高校生 1,500円、一般 2,000円

8月11日(日) 11:00-12:30 / 14:00-15:30

「わたし ひかり ふうけい」万華鏡でつくる夏のおもいで箱

8月17日(土) 10:00-11:00 / 11:30-12:30 / 14:00-15:00 / 15:30-16:30

江戸の娯楽、鉛細工づくりに挑戦してみよう

8月18日(日) 13:00-16:00

「夏の作曲会」森の音楽と美術館の音楽をつくろう

詳細・お申込み方法はHPをご覧ください。

バク・キュビ

朴葵姫 ギター・リサイタル「心に染み渡る天使のトレモロ」

9月21日(土) 開場17:45 開演18:00

一般 3,000円、小中学生・高校生 2,000円、友の会会員 2,500円

詳細・お申込み方法はHPをご覧ください。



スイレン 5月~9月



庭園の人気者、シナガチョウ



紅葉 11月下旬~12月上旬

### 無料送迎バス時刻表

#### 京成佐倉駅発→美術館行

8:50 9:10 9:50 10:20 (10:50) 11:20 (11:50)  
12:20 13:20 (13:50) 14:20 (14:50) 15:20 15:50

#### JR佐倉駅発→美術館行

9:00 9:20 10:00 10:30 (11:00) 11:30 (12:00) 12:30  
(13:00) 13:30 (14:00) 14:30 (15:00) 15:30 16:00

#### 美術館発→JR佐倉駅経由→京成佐倉駅行

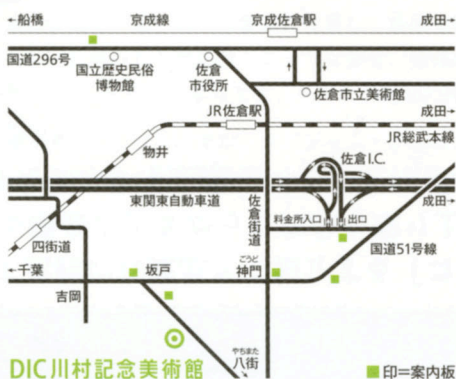
10:50 (11:20) 11:50 12:50 13:20 (13:50) 14:50  
(14:20) 14:50 15:20 15:50 (16:20) 16:45 17:15

( )内は土・日曜・祝日のみ運行増便

歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由

※上記の館が休館の場合は経由しません

### 交通案内



自動車：東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)、無料駐車場300台

東京駅から高速バスで：八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス佐倉ICルート」に乗車(約60分)

[行き]東京駅 9:55発→美術館10:57着

[帰り]美術館15:29発→東京駅16:26着

東京駅からJRで：総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

上野駅から京成電鉄で：京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)

## DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 Tel: 0120-498-130 http://kawamura-museum.dic.co.jp



当館を運営するDIC株式会社は「化学で彩りと快適を提案する」企業です。